

第3回横須賀市立市民活動サポートセンター指定管理者選考委員会 議事概要

日時：令和3年（2021年）10月22日（金）

14：05～15：05

場所：消防局庁舎3階消防第2・3会議室

【出席委員】志村委員長、小実委員、工藤委員、渡邊委員、小串委員

【欠席委員】なし

【事務局】櫻井課長補佐、里吉主任

【傍聴者】2名

<議事要旨>

- (1) 不開示情報に関する意見交換（非公開にて実施した。）
- (2) 提案内容に関する意見交換
 - ・特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート
- (3) 採点及び採点結果集計
- (4) 指定管理者候補の選定

指定管理者候補として、次の団体が選考された。

神奈川県横須賀市根岸町3丁目3番15号

特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート

理事長 佐竹 博

<議事内容>

1 開 会

会議の成立(委員5名中、5名出席のため、会議は成立。)

事務局より進行方法等の説明。不開示情報に関する意見交換が行われたことの報告。

2 意見交換

評価項目ごとの主な意見は次のとおり。

(1) 法令遵守について

発言者	発言内容
委員	これまでの実績に基づいて関係法令の遵守、適正な運営が見込まれる。また、団体情報管理もデータベース管理ソフトの活用等、適正に対策が練られている。
委員	市民活動サポートセンター条例や市民協働推進条例についてはよく理解している。個人情報の保護についても漏洩の防止に主眼をおいた措置がなされており評価できる。

(2) 施設管理について

発言者	発言内容
委員	実績に基づき適正な管理が見込まれるが、施設管理に関するスタッフ全員が共有できるマニュアルの作成、近年話題となっているSDGsを見据えた省エネ対策、廃棄物の削減等、日常的な課題への対応について明記があるとよりよい提案となる。
委員	施設の安全管理の徹底など日頃の確認作業が徹底されているところは評価できる。ただ、利用者からの課題や要望について、今どういったものがあった、どう対応してきたか、提案にそれがどう反映されているかということにもう少し説明があると、この項目に関しての取り組みということに理解が深まると思う。

(3) 利用者への配慮について

発言者	発言内容
委員	市民活動目的以外の方にも利用できるスペースを確保するとともに、市民活動への興味を持ってもらえるような対応を取っている点について評価できる。また、キッズスペースなどの子育てしながら市民活動を行う機会も提供している点も評価できる。今後いろいろな人が市民活動をしたいと思うので、そういった方たちが活動を行う上でどんなことを課題と感じているのかそういったところを考えながら事業計画に盛り込んだらなおよい提案となる。
委員	利用者アンケートを取り運営についての意見を回答も併せてインターネット等で公表している点を評価した。

(4) リスクへの対応について

発言者	発言内容
委員	災害や防災についての対応策は具体的に提示されており評価できる。ただ、日々の施設利用において起こりうる事故というものもあると思うので、それについての言及が少ないようにも感じた。日々の事故への対応というところについても具体的な提案があればより良い提案になる。
委員	これまで指定管理をしてきているという実績を積み上げてきた成果だと思うが、ヒヤリハットマップというのはよい取り組みだと思う。現場の気づきにもつながるし、日々確認してマップをさらに充実させて活用してほしい。

(5) 障害者及び男女共同参画への配慮について

発言者	発言内容
委員	直接の雇用はないが業務委託を行うなど作業所からの物品購入などの提案をされており評価できる。就業規則でワークライフバランスについて規定しているという点で、子育て世代も働ける環境づくりに取り組んでいる。
委員	ワークライフバランスについては人員配置計画を見ると産休育休とともに今後は介護休業というものも想定する必要があると思われる。この点についても具体的な目標など提案があるとなおよい。
委員	男女共同参画にも携わっているという側面から考えてみると、行政の中で男女共同参画というのはごく当たり前のことと認識している。最近ジェンダーに対する解釈も多様になっているので、この時代のもとで、色々な対応を求められていくことになると思う。例えばスタッフとして受け入れた場合の対応をどうするかしていくかということ、あるいは利用者としての対応が考えられる。また、サポートセンターの中でそういった市民活動を行いたい団

	体への対応などを通して、多様性に対応できる市民の育成につながるようにサポートセンターで考えてもらえればと思う。
--	---

(6) 地域貢献について

発言者	発言内容
委員	既に多くの実績があり、行政をはじめ様々な団体、企業、学校等連携に関する提案があり、今後も地域人材活用、地域連携が期待できる。ただ、団体連携については、地域団体は様々あるのでスタッフ等も連携内容が実感できるように、具体的な連携内容を可視化したほうが良い。
委員	学生など若い人たちへ市民活動を広げていき育てていくという視点で考えると、若い世代へのアプローチというのは重要である。ただ、学校との連携というのは意外に難しいので、じっくり構想を練った後はそれを連携につなげるため具体的なものを示すことにより実現性が高まる。
委員	色々な団体と連携の実績があるという理解はしている。今までの実績を踏まえて何を事業化していくか、具体的にどういった連携をして成果を出すかということ提案してもらえるとよい。地域の担い手に育ててもらいたい若い人材のためにも地域に入り込んだ事業等も計画してもらいたい。

(7) 人員体制について

発言者	発言内容
委員	一日の業務の全体像から、誰がどのような役割で何時から何時まで何時間勤務するのかなどを簡略化したシフト表を記載することによって必要な人員などの説明がしやすくなると思う。また、その役割に対応するために館長を始めスタッフが今までの経験をどのように活用できるのかについても関連性を明確にできるとなおよい提案となったと思う。
委員	スタッフについては自ら市民活動を行っている人材を雇用している。市民活動に理解のある人材は大切である。もう一步踏み込むと団体とボランティアのコーディネーター役というものが市民活動サポートセンターの担う大きな役割になると思うので、そういった面のスキルアップを研修等により図ってほしい。

(8) 市民公益活動に資する取組みについて

(市民公益活動に関する情報の収集・提供・啓発)

発言者	発言内容
委員	実績に基づいて様々な取組みが期待できる。現状の取組みや改善、新規の取組みの内容が、ひとまとめの記載となっており、現状の取組みで進めているもの、改善して進めるもの、新規で取り組むものの区分を可視化したほうがより良い提案となる。
委員	市内の中間支援組織との連携は取れているように思われる。できたばかりの若い世代の団体とベテランの団体の交流成果について具体的な成果が見えるとよい。
委員	若い人はSNSを利用していることから、SNSを活用した情報発信の仕方も様々な方法を検討していく流れとなっているので、一つ一つ段階を踏んで活発な情報発信につなげてもらいたい。

(9) 市民公益活動に資する取組みについて

(市民公益活動に関する相談支援の方法や体制)

発言者	発言内容
委員	支援方法や体制を検討する上で、過去の相談内容や市民活動団体の意識調査等を通じて、どのような点に市民活動団体が悩みを抱えているのかを提示してもらえるとわかりやすかった。
委員	市民全体でみると市民活動に興味や関心を特に持っていない市民はまだ多くいる。そういういわゆるサイレントマジョリティにもアクションを起こしてもらい市民の裾野を広げてもらうということを相談支援の前提として考えてもらいたい。

(10) 市民公益活動に資する取組みについて

(学習機会の提供、専門性、ノウハウを活かした市民公益活動の促進方法の提案)

発言者	発言内容
委員	市が課題として抱えている事項、例えばIT支援、子育て支援、学生との協働等が計画されているところは評価できる。ただ、同じような課題に基づき色々な団体が課題に取り組むための計画をしていると思われるので、情報共有をしてより効果的な取組みにしてもらいたい。例えば、市は公式LINEを活用してもらいたいが、高齢者にとってはLINEといものが馴染みにくいという問題がある。市としても今後広がっていかなくてはならないという課題があるので、そういったところを連携していければ裾野を広げるための計画に結び付くと思う。
委員	プロボノ等に関する取組みについて提案しているが、これは良い取組みだと思うので、もっと市民への周知やPRを行い、これまでの経験の中で培ってきたものを確認しながら不足していると思う部分への対応も含め今後の取組みについて検討してほしい。

(11) 市民公益活動に資する取組みについて

(市民活動団体間やそれ以外の団体等との交流・連携・連絡調整の方策)

発言者	発言内容
委員	ステークホルダーとどういった連携、連絡調整をしていくのか具体的に示されていなかったのも、経験や実績を踏まえたもう少し具体例の記載が欲しかった。ここにはイベント参加についての記載があるが、イベントへの参加によりどういった効果があったかとか、フィードバックとして利用者が増えたとか効果に関する記載があるとよかった。横須賀地域支えあい協議会への協力についても具体的にどういった協力をしていてどういう役割を担ってきたのかを踏まえて提案があるとよかった。
委員	市内には町内会や自治会が300を超えるが、地域と市民活動団体が役割分担しながら活動するしくみづくりなどについて、もう一步踏み込んだ考察がほしい。また、地域になじめそうな市民活動団体の抽出ができるよう団体との関わりを深めてほしい。

(12) 指定管理料について

発言者	発言内容
委員	人件費の削減は難しいと触れられているが、その中で、コストカットについて提案している。スリム化することとはとても大切なことであるが、過度な負担を生じるとワークライフバランスの達成にも影響が出ると思う。考慮したうえでの提案と理解している。
委員	指定管理料というと節約して削減という話は出てくるが、それは無駄遣いがないようにという視点でも大切なことであるが、一方で削減ということは裏を返すとサービスの低下になってしまうという恐れもある。表裏一体の関係ではあるが、削減の妙案や提案に関して前向きに発展的な方向でアイデアを練ってほしい。

3 採点及び採点結果集計

出席委員5名により採点を行い、集計結果を発表した。

4 指定管理者の選定

基礎項目評価点及び各選考委員の評価点を合計し、委員全員の総配点1,000点満点の60%である600点以上を獲得していることを確認し、「特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート」を指定管理者候補として選考した。

5 閉会